

立体写真・映像視聴方式比較

立体視補助器具		表示フォーマット	表示装置			代表例	特徴	当サイトコンテンツ推奨鑑賞方法(PCディスプレイ)	
			ポジ	プリント、PCディスプレイ	プロジェクタ映写			立体視補助器具	立体映像再生プレーヤソフト
裸眼方式	なし	平行法サイドバイサイド		○			簡便であるが、小さな画像に限定される。見れる人限定される。		当サイトの立体ビデオコンテンツは主にフルハイビジョンの左右別ファイル及び1/4解像度にダウンサイズしたwmvファイル(3.2Mbps)にて配信しております。下記の二つの立体ビデオプレーヤは、左記のすべての表示フォーマットで再生が可能です。
		交差法サイドバイサイド		○			簡便であり、比較的大きな写真も可。見れる人限定される。		
		レンチキュラ、視差バリア インテグラルフォトグラフィ ホログラフィ		○			解像度低い。見る位置に敏感。多眼対応可。装置巨大。解像度低い。疲れない自然な立体感。多眼対応可。将来技術。		
ビューア方式 (レンズ、プリズム、鏡など利用)	ポジフィルムビューア	平行法サイドバイサイド	○			View Master	最高の解像度。一人用。デジタル非対応	○(一人用) ビューア入手先: http://www.3dmus.com/vv/kaisetunoma.html ◎(一人用) 自作してください。参考サイト: http://www.crystalcanyons.net △ メガネ入手先: http://www.stereoeye.jp/shop/index.html	
	プリントビューア	平行法サイドバイサイド		○		Virtual View Pokescope	自然な色再現性、立体感。大画面(24"ディスプレイ)も可。解像度良い。一人用。		
	ミラービューア	平行法(左右反転)サイドバイサイド		○		Crystal Canyon	自然な色再現性、立体感。大画面(24"ディスプレイX2)も可。解像度良い。視野角広く一人用としてはベスト。		
メガネ方式	色メガネ	左右重ね合わせ表示、色フィルタによる左右分離	赤-シアン(アナグリフ)		○	△	Anaglyph	色再現性良くない。ゴーストあり。	○(一人用) ◎(多人数用) ビューア入手先 △
			青-アンバー		○		ColorCode3D	アナグリフに比べすこし改善	
			選択波長		○	○	Infitec、Dolby3D	アナグリフに比べ大幅に改善。一部映画館で採用。メガネ高価。	
	偏光メガネ	左右重ね合わせ表示、偏光フィルタによる左右分離	○(ハーフミラー方式)			○	Planar StereoMirror	反射式ビューワに比し、暗い、偏光メガネ必要。	
						○(RealID方式)	RealID	現在多人数用では最も普及している。色再現性など良い。特殊(シルバー)スクリーンが必要。映画館向け。	
			○(Xpol方式)				Hyundai Zalman	縦解像度1/2	
			○(Xpol方式)				BS11 (Hyundai)	縦横解像度1/2(2D視聴時は横1/2サイドバイサイド)	
	液晶シャッターメガネ	時分割方式による表示、左右分離		○	○	Crystal Eye Olympus Power3D Panasonic Real3D	表示装置の高速動作が必要、LCD現状の75Hzではフリッカ残る。120Hz以上ではフリッカなくなり、将来の普及が期待される。液晶メガネが重い、すくし暗くなる、高いが課題。		